



大地申
第10号

「平成31年3月ダイヤ改正等について」に関する申し入れ

交渉開催 車セ関係 その2

【東大宮センター分会】

1、185系の廃車計画を明確にし、急遽運用が発生しないようにすること。

- 組：昨年B2編成の廃車が、営業部の計画があり延びた。今回も延びている。保安装置も波動車は様々あり、予備品の確保をお願いしたい。
- 会：E257系の計画もあり、決まり次第廃車していく。支社ではコントロールできない。部品の状況は確認して、確保していく。

2、261系の投入及び使用計画を明確にするとともに、運用開始までに必要な教育を現場任せにせず関係箇所に行うこと。

- ・11月にキックオフした。
- ・ミーティングを重ねスケジュールは伝えていく。
- ・毎月1～2回設計会議を行っている。
- ・四季島での状況は認識しており、残工事が発生しないようにしていく。

3、257系の投入が遅れている理由を明らかにすること。また、運用開始がスムーズに出来るように配置すること。

- ・転用改造工事は長野でJ-TRECの施工で行っている。当初60日の工程が、80日に延びた。
- ・第一編成は、残工事(塗装等)が発生してしまう。
- ・受け側としては、完成させてという思いはあるが、長野の状況もあり東大宮に留置させる。
- ・工事が終わるまでは、松本車セの所属で対応は長野で行う。

4、252d運用の東大宮操出区後、東京据え付け3005M充当とすること。

- 組：尾久に入区中に修繕対応もある。その分東大宮に留置させれば、ロスもない。251系は劣化が激しく、重量物の運搬も発生している。
- 会：空調などの対応は認識している。現行、旅客列車の関係で変更は難しい。輸送課と勉強をしていく。

【川越車両センター分会】

1、予備車を確保するため、改造工事のスケジュールや車両の増備・廃車計画を明らかにすること。また、工事や無線等の登録に遅れが生じた場合は安全を最優先として、スケジュールを組み直すこと。

- ・改造工事は年度内7編成。来年度24編成。
- ・留置や予備車の状況は把握している。
- ・申請して、許可が下りないと使用できない。
- ・廃車は決まっていない。
- ・無線の登録は、配置箇所でしか電波を発せない。
- ・現行、総務省の認可がおりていない。

2、E491系の留置計画を明らかにすること。また、車両増備があることからE491系の改造を行うこと。

- ・3月から郡山で工事となる。
- ・5月の走行試験は、現行のダイヤで考えている。
- ・埼京線の新車同様、電波は川越か東京でしか発信できないため、川越の留置で試験を考えている。
- ・入換や、検査など川越に負担とならないようにしていく。
- ・今後、郡山や勝田で試験が行えるよう申請する。

3、輸送混乱時の瞬間的な業務量増加があり、一部担当者の負担が軽減されていないことから、相鉄乗り入れに向けて運用支援装置を設置すること。また、輸送混乱に対応出来るよう体制を強化すること。

- ・支援装置は、他社では把握できない課題がある。
- ・運用が苦勞している認識はある。
- ・引き続きバックアップしていきたい。
- ・乗入に向けて、本社・指令と調整を行っている。
- ・現場の声を聴きながら情報共有をしていく。
- ・検査周期や運用整理のあり方は課題。
- ・乗入のノウハウを活かしていく。

安全・健康・ゆとり・働きがいのある職場を目指し検証運動をつくりだそう!